

第32回

日本住宅会議サマーセミナー

東日本大震災

5年後の復興模様

東日本大震災から5年が経過し、復興は徐々に進みつつあります。しかし、その歩みは必ずしも早いとはいえず、また、地域によって違いが表れてきています。いわば、「復興格差」という状況が生まれており、着実に再建を図りつつある被災者もいれば、いまだ住まいや暮らしの見通しが立たない人々も少なからず存在しています。

宮城県北部には、最大の被害を受けた石巻市のほか、東松島市、七ヶ浜町、女川町などの被災地が含まれますが、地域ごとの被害や復興状況も様々です。今回のサマーセミナーでは、宮城県沿岸部の5年を経た復興状況を学び、今後の在り方を考えます。

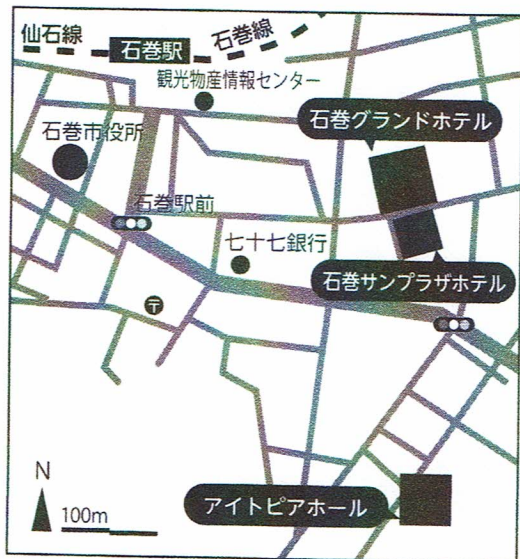
また、熊本地震が発生し、日本各地での地震災害リスクが予感される中で、今後の備えについても議論できればと思います。皆さんの積極的なご参加をお待ちします。

日時 2016年
9月4日(日)～6日(火)

会場 みやぎ生協文化会館
アイトピアホール
石巻市中央 2-7-3
電話●0225-92-5191

宿泊 石巻グランドホテル
石巻市千石町 2-10
電話●0225-93-8111
石巻サンプラザホテル
石巻市立町 1丁目 7-23
電話●0225-93-3311

MAP



●参加費 (当日、アイトピアホールの会場受付にてお支払い下さい。
ホテルは2カ所に分かれますが、受付で部屋割りをお知らせします。)

	1日目宿泊	2日目宿泊	参加費2日分	見学参加費	懇親会	フル参加費	資料別売	1日参加費
会員	7,500	7,500	4,000	3,000	5,000	27,000	1,000	2,000
非会員	7,500	7,500	5,000	3,000	5,500	28,500	1,000	2,500
学生	6,000	6,000	2,000	2,000	2,000	18,000	1,000	1,000

- ・宿泊費：シングル、朝食付き
- ・参加費に含まれるもの：講演・シンポジウムの参加費用、資料代

●プログラム (講演・報告のタイトルはいずれも仮題)

9月4日(日)

13:00	受付
13:30	歓迎あいさつ 亀山 紘 (石巻市長)
14:40	記念講演「震災5年と東北の100年 ～日本一長い運河群の津波被災と復興創生について～」 後藤光亀 (東北大学准教授)
	〈休憩〉
15:00～15:15	緊急報告「熊本地震の現状」 宮定 章 (認定NPO法人まち・コミュニケーション代表理事)
15:20～16:00	講演「あの日を忘れず 共に未来へ～東松島一心～」 阿部秀保 (東松島市長)
16:10～17:10	特別報告「石巻における住まいとまちの復興状況」 佐立 昭 (石巻 住まい連代表)
18:00～	〈夕食・懇親会〉

9月5日(月)

8:30～15:00	見学会 ・石巻市 渡波地区、在宅被災者、開成仮設住宅、蛇田地区、再開発事業 ・女川町 新駅、商店街、公営住宅 ・雄勝地区
15:30～18:30	シンポジウム「石巻における復興の現状と課題」 報告①「在宅被災者が抱える住まいの問題」 伊藤健哉 (チーム王冠代表理事) 報告②「石巻街なか復興ビジョンと再開発事業」 荻谷智大 (株式会社街づくりまんぼう) 報告③「若者が創る新しい石巻」 渡邊享子 (ISHINOMAKI2.0 理事) 報告④「上釜地区の地域づくり」 西村真由美 (上釜を愛する会事務局) 〈休憩・準備〉 ワークショップ「6年目からの復興をどう進めるのか」 グループ討論 全体まとめ 〈夕食・各自〉

9月6日(火)

9:30～12:00	シンポジウム「リアス海岸地域の復興」 報告①「雄勝地区復興の現実～行政・学者・メディアそして住民～」 阿部晃成 (雄勝里山プロジェクト事務局) 報告②「持続可能な地域産業に向けた挑戦と戦略」 阿部喜英 (復興まちづくり女川合同会社代表社員) 報告③「既存コミュニティ(浜)を活かした復興の事例：宮城県七ヶ浜町」 小野田泰明 (東北大学教授)
------------	--

●参加申込み 氏名(会員・非会員・学生の別)、連絡先(住所・電話・メール等)、参加日程、宿泊日程、懇親会参加の有無、見学会参加の有無を明記の上、下記宛にメールまたは郵便・FAXにて申し込んでください。

メール: shioken@fc.ritsumei.ac.jp FAX: 075-541-2831

〒567-8570 茨木市岩倉町 2-150 立命館大学政策科学部 塩崎研究室
日本住宅会議事務局

●締め切り 8月8日(月) 定員70名 見学会は定員50名(先着順)